

## 「郷土岡山」を学ぶ上映会



郷土に輝く人（平成9年岡山県制作 カラー 5分）

つ ぼ た じょう じ

# 坪 田 讓 治

— 故郷を愛した童話作家 —

上映日時：平成26年2月23日（日）午後 1 時40分～

上映場所：岡山市立中央図書館2階視聴覚ホール

●児童文学作家の坪田讓治は、故郷岡山を愛し続けました。童話を通して子どもたちを育てるだけでなく、若手作家の育成にも力を注ぎ、生涯に渡って児童文学の発展に尽くしました。その人生を見つめてみましょう。



代表作品の一部



早稲田大学英文科のころ



「坪田文庫」と母校の図書館



坪田讓治と文学碑

●坪田讓治は多くの作品の中で、無邪気で純真な少年たちが、苦しさには負けず明るく生きていく姿をえがきました。代表作「子供の四季」でも、善太と三平のきょうだいが、不幸にであいながらも、たくましく生きていきます。

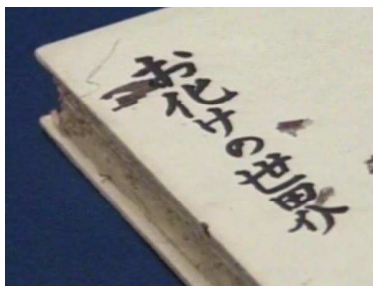
●讓治は、明治23（西暦1890）年、岡山市島田本町で生まれました。高等小学校のころから本を読むことが好きで、旧制金川中学から早稲田大学英文科に進み、本格的に小説家を目指しました。

●童話作家の小川未明に教えを受け、鈴木三重吉主宰の童話雑誌「赤い鳥」に童話を書き続けますが、なかなか認められませんでした。45歳で発表した「お化けの世界」で、やっと童話作家として認められたのです。

●それから後、母校の小学校に本を贈り続け、若手作家の発表の場として「びわの実学校」を発行しました。昭和57年に92歳で亡くなると岡山市は、業績をたたえて「坪田讓治文学賞」を制定しました。坪田讓治の人生は、子どもたちの心を育て続けた生涯でした。



坪田讓治の生家



「お化けの世界」



雑誌「びわの実学校」

協 力  
坪田 理基男さん 吉備路文学館  
岡山市立石井小学校 岡山市立中央図書館